

愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	前期
授業科目名 (Course name)	専門演習 I		
担当者 (Instructors)	松本 亜香里	配当年次 (Dividend year)	3
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
三法令における幼児教育や保育の基本的視点と子どもの発達を理解したうえで、子どもの遊びならびに遊び環境への理解を深める。また、モノを媒介した保育者と子どもとのかかわりについて、実践をととして指導法を探る。			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態 (Class form)	演習
授業の方法 (Class method)	演習形式で行う。授業内容に応じて、事前学習をふまえたグループワークやディスカッションを取り入れる。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション (授業の説明、注意事項、ゼミ内役割分担)	<input type="checkbox"/>
第2回	乳児の発達に即した保育の展開に関する研究	乳児クラスの保育の展開について理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	幼児の発達に即した保育の展開に関する研究	幼児クラスの保育の展開について理解する。	<input type="checkbox"/>
第4回	保育教材の研究 固定遊具	保育施設に設置されている固定遊具について、それぞれが教材を選択し、遊びの面白みや注意事項、展開方法を理解する。	<input type="checkbox"/>
第5回	保育教材の研究 集団あそび	集団あそびについて、それぞれが教材を選択し、遊びの面白みや注意事項、展開方法を理解する。	<input type="checkbox"/>
第6回	保育教材の研究 コーナーあそび	コーナーあそびについて、それぞれが教材を選択し、遊びの面白みや注意事項、展開方法を理解する。	<input type="checkbox"/>
第7回	事例を通した保育内容の研究	紹介された事例について子どもの心情や環境設定について考える。	<input type="checkbox"/>
第8回	保育教材の研究 各種シアター	エプロンや手袋、パネル、スケッチブック等によるシアターの実践研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	保育教材の研究 作成	選択したシアター教材を作成する。	<input type="checkbox"/>
第10回	保育教材の研究 仕上げ	選択したシアター教材を仕上げる。	<input type="checkbox"/>
第11回	保育教材の研究 指導法のあり方	実践シミュレーションをもとに指導法をあり方を研究し、教材の調整を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	保育教材の研究 実践と振り返り	ゼミ内での実践をととして、個別ならびに相互の振り返りを行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	研究課題の追求と課題設定	保育に関する研究課題について調べ、各自の課題設定を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	資料の収集方法 (文献や論文による研究課題のリサーチ)	設定した課題に関する資料の収集方法を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	前期ゼミ活動の振り返りと後期計画	2～7回、8～12回の活動をそれぞれ振り返る。また、後期の研究計画をもとに夏休みの過ごし方を考える。	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)	
事前学習として、子どもの発達段階ならびに遊びの内容や環境について、自分なりの言葉で説明できるようにしておく (2時間程度)。事後学習として、授業の中で取り扱った内容や保育教材について課題用紙にまとめておく (2時間程度)。	

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)	
提出された課題にはコメントを書き入れ、次の授業でフィードバックをする。また、全体に対して課題内容を紹介する形でフィードバックを行うこともある。	

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	他科目で培った知識や技術をもとに、保育教材ならびに保育環境の意義を乳幼児の発達と領域を含めて説明することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	実践と調査研究をとおして、現代の保育や教育の現場が直面する課題について自分なりに考えをまとめ、根拠資料やデータをもって説明することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	他者と協働して実践研究を取り組み、そこで見いだした課題をもとに探求心をもって調査をすすめることができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			30%	70%
授業内試験等(具体的内容) (Specific contents) 課題をとおして、授業の中で扱った内容をまとめる (70%)。				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	授業の中で、必要時応じて紹介する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	授業の中で、必要時応じて紹介する	
2		
3		
4		
5		